



# 広 い 心

学校便り 3号  
令和7年 5月15日  
宮古島市立狩俣小学校  
発行者：校長 喜屋武 真史

## 春の遠足(1年生を迎える会)



5月7日、上野ドイツ村にて春の遠足を実施しました。心配された天気もなんとか持ちこたえ、涼しくて良い遠足日和となりました。広々とした芝生の広場や隣接する遊具で思いっきり体を動かし、笑顔で楽しそうに遊ぶ子供たち。見ているだけでも笑顔になれました。狩俣小の子供たちは、とても人懐っこいので、「校長先生、野球しましょう」「バドミントンしましょう」と誘ってくれます。童心に帰って一緒に遊び、楽しい時間を共有することができました。

遠足の後半は、同広場で「1年生を迎える会」も開かれました。集会委員会の悠斗さん、冠成さんが、みんなで楽しくすごせるように「借り物競争」を企画・準備してくれたおかげで、みんな笑顔の楽しい会になりました。また、各学年からは、「手作りのメダル」などが1年生にプレゼントされました。1年生は、「プレゼントがたくさんで、もう持ちきれない～」と笑顔で嬉しそうにしていました。狩俣小児童の笑顔とやさしさがあふれる、楽しい一日となりました。



## わくわくタイムに楽しく運動



5月15日、朝の時間にわくわくタイムがありました。今年度は、毎週木曜日の8:15から「朝の合同体育」として実施しています。体育主任の佑弥先生が「今日は日本伝承の遊び『だるまさんがころんだ』をします」とルールを説明すると興味津々な子供たち。ケタケタ笑いながら楽しく運動しました。

毎週木曜の朝は、佑弥先生がみんなで楽しめるテーマを考え、全校児童で運動に親しんでいます。

